

④ 第4委員会

「自然に親しみ、生き物を大事にするまちづくり」



それでは、第4委員会の意見を発表します。

第4委員会のテーマは、「自然に親しみ、生き物を大事にするまちづくり」です。このテーマについて考えるため、^{わたし}私たちは、7月22日に東山動植物園の^{しせつ}施設見学を行いました。

そこで、まず^{わたし}私たちは、象に^{えさ}餌をあげました。そのとき気づいたことは、象は鼻を器用に使って^{えさ}餌を食べたことです。東山の^{しいく}飼育員さんは、^{わたし}私たちにこういう体験をさせてくれて、もっと自然に^ふ触れ合うようにしてくれたのだと感じました。

次に、ゾージアムで象の^{もけい}模型の^{てんじ}展示を見ました。その^{てんじ}展示は、いろいろな人と象との交流を深めるためのものだと思います。また、象は^む群れで生活するため、東山動物園でも象を^む群れで^{しいく}飼育していることがわかりました。

次に、東山の象は、長い間、^{しいく}飼育員さんの努力により戦争から守られ、食事や出産にも気を配り、東山に象が^い居続けることができ

いると聞きました。それは、環境かんきょうを守ることであり、それを続けている東山の飼育員しいくさんはすごいと思いました。

最後に、東山のすばらしい歴史について学びました。アジアゾウは、戦前の1920年からずっと飼育されています。また、昭和12年に建てられた温室も平和の大切さを伝えています。どちらも飼育員しいくや職員しよくの皆さんみなの熱意と努力ささが支えてきました。今も、温室ふくげんの復元や動物が住みやすく、楽しく暮らせる動物園づくりに取り組んでいます。東山に来ると平和の大切さがわかります。戦争のない、人間と動物が仲よく共存きょうぞんできるまちにしていきたいと思いました。

その後、私わたしたちは、施設見学しせつをしてわかったことや思ったことをもとに、名古屋を「自然に親しみ、生き物を大事にするまち」にするためには、何をすればいいか考えました。

それでは、私わたしたちが考えたことを順番に発表します。

○子ども議員

僕ぼくは、名古屋を「自然に親しみ、生き物を大事にするまち」にするには、まず道路や森などにポイ捨てすをしないことです。

もしごみが出てしまったら、家に持ち帰り、分別して捨てれば再利用さいできるし、物を燃もやさないのでCO₂が出なくなります。生き物にとって、ある程度ていとに観察して、森に帰すなどにすれば、その生き物が新しい命を産み、またさらに新しい命が生まれる。なので、皆さんみなも生き物をとったら、川や森などにきちんと帰してください。発表を終わります。

○子ども議員

^{ぼく}僕は、東山動植物園を中心に、名古屋を緑あふれるまちにしてい
くといいと思います。

名古屋には、街路樹^{じゅ}などがたくさんありますが、緑は大切なので、
もっと木や花や草をふやすといいと思います。

そのために植物を育てる会や緑をふやす会などを開き、名古屋を
日本一緑が多いまちにしたいです。

○子ども議員

^{ぼく}僕は、今回見学に行った東山には何度も行ったことがあります。
ナイトズーにも行ったことがあります。

いつも動物を近くで見るとき、目線に手すりがあって全部が見え
にくいのが残念です。車椅子^{いす}の人たちも今まで以上に楽しめる動物
園になるといいなと思います。

植物園には余り^{あま}行ったことがなくて、温室が重要文化財^{ざい}だと初め
て知りました。平成32年に温室が完成したら行ってみたいです。植
物園も子どもたちにもっと知ってもらうためにクイズラリーなどい
ろいろな楽しいイベントをしたらいいと思います。これで発表を終
わります。

○子ども議員

東山動物園は象がずっといることがびっくりしました。戦争が起きている時も象を守り続けて、出産も東山の人だけで出産していて、すごいと思いました。

○子ども議員

絶滅^{ぜつめつ}した生き物や絶滅^{ぜつめつ}しそうな生き物の原因^{げんいん}を調べて、それにかからないようにして、今もいる生き物をどんどんふやしていけたらいいなと思います。

自然に親しみ、森や林にごみを捨てないようにしたりして自然を守ったら、自然と仲よくなったら緑がいっぱいになると空気もきれいになると思います。

○子ども議員

^{わたし}私が、名古屋を「自然に親しみ、生き物を大事にするまち」にするには、もう数が少なくなった名古屋の自然を残したほうが良いと思いました。名古屋市の^{みな}皆さんに、まだ名古屋には^{めづら}珍しい生き物が生息していると知ってもらう機会をもっとつくったほうが良いと思います。

そして、^{わたし}私たちがその数少なくなった生き物がもういなくならないように、生き物たちのすみかを守り、人間と生き物が^{いっしょ}一緒に仲よく住めるまちにしたほうが良いと思います。だから、人間が木を^す切り過ぎないなど、あと、なるべく自動車を使わないなどの努力も必要だと思いました。

○子ども議員

^{ぼく}僕たちは、まず象のことについて聞きました。東山動物園では、象を79年^か飼っているということに^{おどろ}驚きました。79年の間には戦争がありました。そのときに東山の人^かが、象を飼いたいという強い気持ちがあり努力をしたからこそ、今東山に象がいるんだと思います。

もう一つ、^{さいせい}再生プランのことについて聞きました。今ショベルカーでチンパンジーやゴリラの新しい住む場所をつくっているそうです。^{ぼく}僕は東山の人^かは、動物たちが楽しく住みやすく^く暮らせるように努力していてすごいと思いました。これで終わります。

○子ども議員

私は、子どもも大人も誰もが動物や植物の本来の姿を感じたり、学べる施設をふやすべきだと思います。

今の地球は、私たちが人間のことばかり大切に活動によって環境が破壊され、生態系は乱れ、絶滅の危機に陥る生き物がどんどんふえています。だから、私たちは生き物の生態や適した環境を理解することが大切です。東山動植物園が動物や植物を珍しいペットや飾り物ではなく、一つの地球の上で生きる、かけがえのない仲間の姿を見られる場所にしたいと思います。

○子ども議員

今はだんだん野生の象が減少してきているそうです。だから、いろんな動物園で象を出産させ、生息地に戻してあげられると象がふえていくので、僕はいいと思います。そして、今は象の出産を手伝える動物園も少なく、外国の人を呼んでいる動物園も多いそうなので、たくさんの動物園で、出産を手伝える人がふえてほしいです。また、象以外にも絶滅危機になっている動物にも出産を手伝える人がいたらいいと思います。

○子ども議員

^{わたし}私は、見学でいろいろな象や^{もけい}模型などを^{てんじ}展示してあったことが印象に残りました。

思ったことは、^{しいく}飼育員さんたちの、いろいろな人に象の^{せいたい}生態や^{こうぞう}構造などをもっと知ってほしいという思いが積み重なってつくられたのではないかと^{わたし}私は思いました。

このように、名古屋の自然もいろいろなことが積み重なっていけば、もっといい自然になるのではないかと思います。

○子ども議員

^{わたし}私は、名古屋を「自然に親しみ、生き物を大事にするまち」にするには、自然や動物に^ふ触れ合うことが大切だと思います。

^{わたし}私は、東山動植物園に見学に行きました。そこでは、^{ぜつめつ}絶滅危惧種を守ったり動物のことを知ってもらう取り組みをしていました。それによって、多くのお客さんにいろいろな動物を見てもらって楽しませることが^{わたし}できます。私たちはもっと動物や自然に^ふ触れ合ったら関心が高まり、大切にしようと思う気持ちになると思います。

○子ども議員

僕は、東山動植物園を見学してきて、「自然に親しみ、生き物を大事にするまち」に名古屋市をするためには、最初に、人間と動物が互いに協力すればいいと思います。なぜそうすればいいかと思ったかという、東山動物園では、ふだん人間が見学させてもらっている象などの動物も、人間のおかげで出産できたので、そう思いました。多分ここの動物園ならば、パンダの出産も成功すると思います。

次に、緑のカーテンをもっとつくればいいと思います。理由は、東山植物園で虫たちが木の下で涼しそうにしていたからです。なので、至るところに緑のカーテンをつければいいと思います。それで、オアシスをふやせばいいと思います。これが僕の意見です。

○子ども議員

皆さんこんにちは。皆さんは象を見たことがありますか。僕は象を調べてきました。

象は群れで移動することが多いです。なので、東山動物園でも群れで飼育したいと考えていました。でかい象が群れで歩くところを見たいです。ぶつかったりしないか不安もあります。

あと、東山植物園にも行ってきました。新しい施設があと4年でできるらしいです。重要文化財の温室の施設ができるので楽しみにしています。これで終わります。

私たち第4委員会は、このようなことが、名古屋を「自然に親しみ、生き物を大事にするまち」にするために必要だと考えました。

これで、第4委員会の発表を終わります。

■ やまぐち山口土木交通委員長の答弁とうべん

みな皆さんからすてきな感想とたくさんのていあん提案をいただきました。第4委員会のテーマは、「自然に親しみ、生き物を大事にするまちづくり」です。東山動植物園を見学し、子ども委員長、子ども副委員長を中心に話し合っ、このテーマについて深く考える3日間になりましたね。

ゾージアムではアジアゾウのえさ餌やりも体験し、そして戦争から象の命を守り、子どもたちにゆめ夢と希望をあた与えた「ぞう列車」の話も聞きました。東山をささ支えている飼育員や職員しよくの熱意と努力が、皆さんにもしっかり伝わったと発表を聞いてよくわかりました。動物、植物だけでなく、働いている人たちのこともしっかり見てくれたこと、わたし私はとてもうれしく思いました。

皆さんの意見や提案には、「自然に親しみ、生き物を大事にするまちづくり」についての大事なヒントが幾つもあったと思います。発表を聞いて、わたし私は三つのことを皆さんに約束したいと思います。

一つは、名古屋を緑あふれるまちにすることです。名古屋にもまだまだめずら珍しい生き物が生息している。そんな生き物がいなくならないように、木を切り過ぎない、木や花を植える、ごみのポイ捨てはやめる、そして名古屋の森や林、街路樹なども大切にすして、人間と生き物がともに暮らせる、そういう名古屋、これは一緒につくりたいと思います。

二つ目は、もっとすてきな東山動植物園をつくることです。ぜつめつ絶滅危惧種を守り、種のほぞん保存にもしっかり取り組む東山、大人から子ども



もまで楽しく学べる、そんな動植物園、象やゴリラ、チンパンジーなどが群れで暮らせる。自然に近い状態で生き生きと暮らせる、そんな東山動植物園をつくりたいと思います。そして、子ども議員からは、動物に近寄ると車椅子だと目線の高さに手すりがあって、動物が全部見えない、全部の姿がなかなか見えない、それが残念だと大変大事な指摘をいただきました。とても貴重な意見だと思います。この意見、これからの施設づくりにもしっかりと生かしていくことも約束したいと思います。

三つ目、東山動植物園の貴重な歴史を、もっとみんなに伝えていきます。これは説明は要りませんよね。そして、子ども議長から、東山にパンダを、こういう提案があったと思います。どうしたら実現できるかな、私も一生懸命考えていますが、まずパンダや象など貴重な動物が暮らす、それぞれの国としっかり仲よしになること、そして東山だったら安心して貴重な動物を預けることができる、こう言われるような立派な施設を整えていくことがまず必要だと思います。東山では2年後に新しいアフリカの森が完成します。4年後には重要文化財の温室も復元され、公開されます。パンダが見たいと、この夢を温め続けて、また東山で皆さんと同窓会ができるといいなと思います。

最後になりますが、3日間一緒に勉強させていただきました松本副委員長、小林副委員長、そして教育委員会の鈴木先生、そして東山の職員の皆さんとともに、皆さんに感謝を申し上げて、答弁とさせていただきます。ありがとうございました。

